

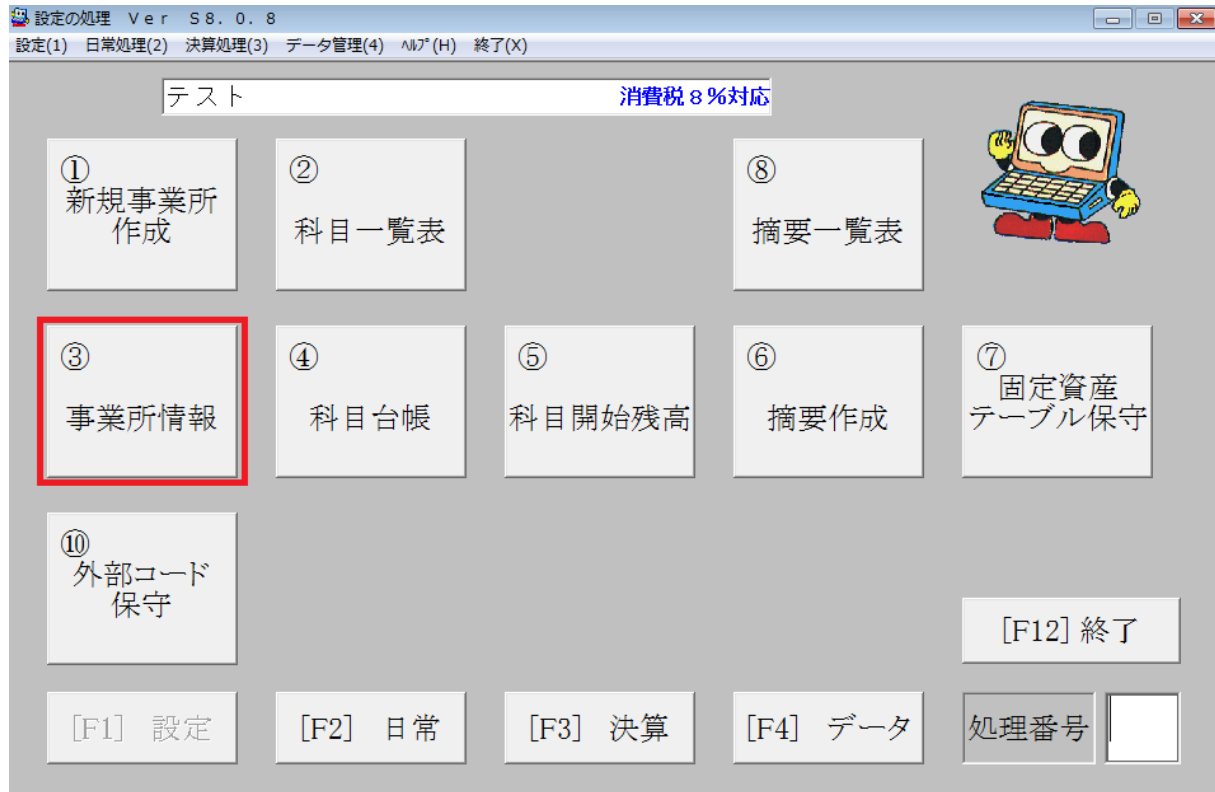
## 子記帳くん 期中の和暦西暦区分の変更に関する注意事項

既にいくつかの仕訳データを登録している場合、和暦西暦区分を変更しないで下さい。  
変更してしまった場合、2つの対応方法があります。

※変更した後で残高再集計は絶対に実行しないで下さい。仕訳データが消えてしまいます。

対応方法1. 和暦西暦区分を以前の状態に戻す。

手順① 事業所情報の画面を表示する。

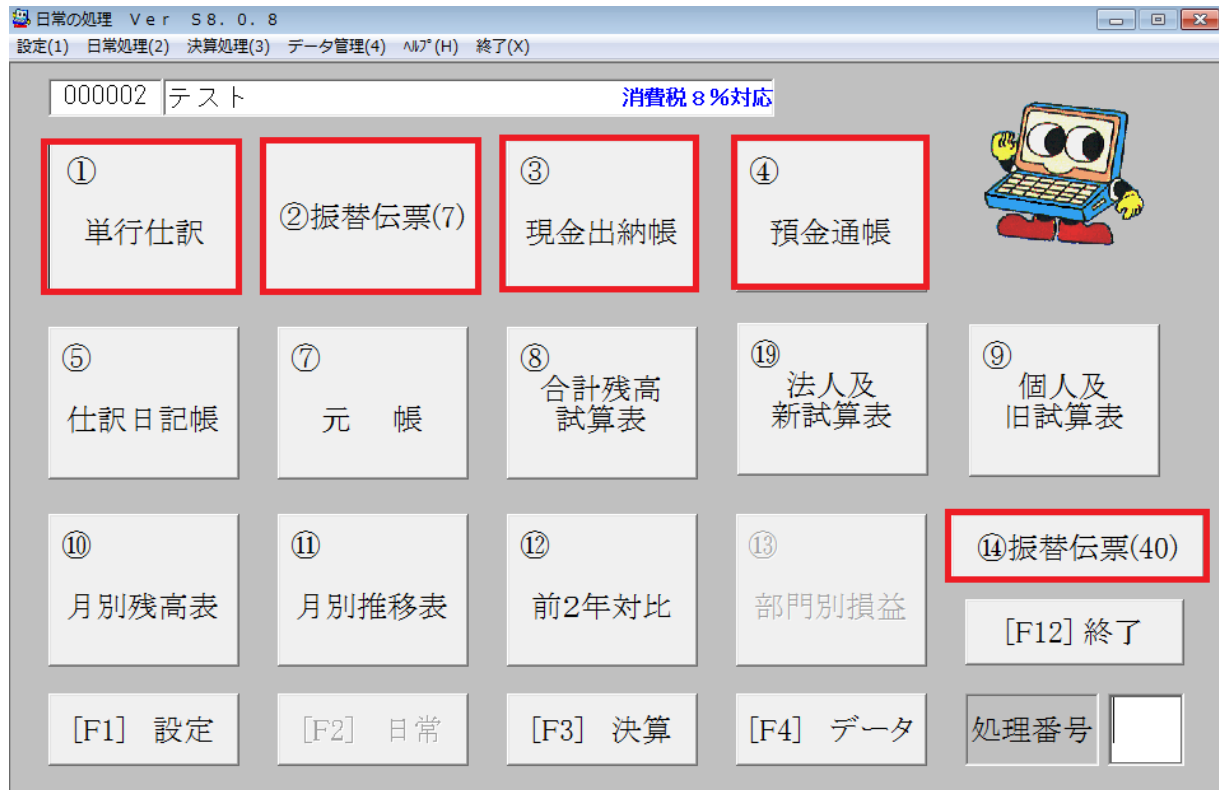


手順② 和暦西暦区分と会計期間を以前の状態に戻す。

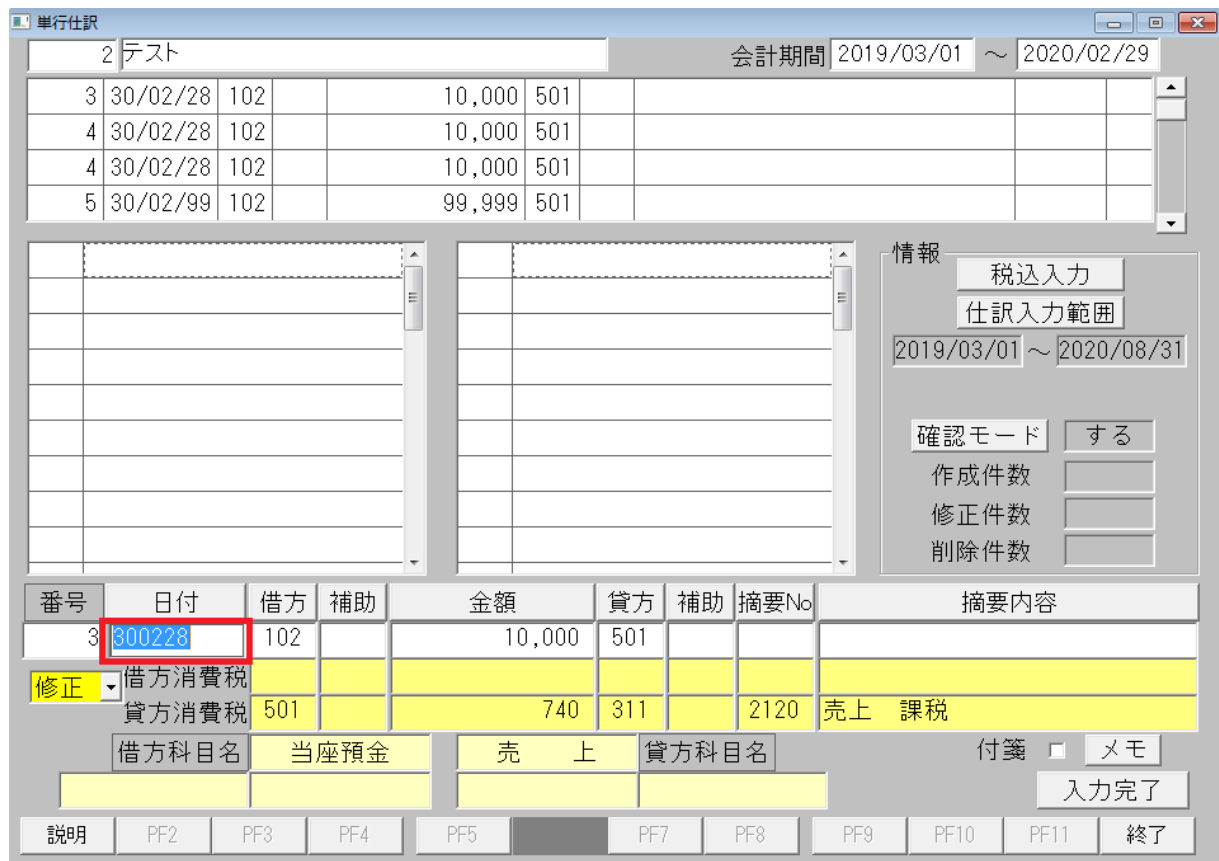
	月始	月締
1	29/03/01	29/03/31
2	29/04/01	29/04/30
3	29/05/01	29/05/31
4	29/06/01	29/06/30
5	29/07/01	29/07/31
6	29/08/01	29/08/31
7	29/09/01	29/09/30
8	29/10/01	29/10/31
9	29/11/01	29/11/30
10	29/12/01	29/12/31
11	30/01/01	30/01/31
12	30/02/01	30/02/28
13	30/03/01	30/03/31
14	30/04/01	30/04/30
15	30/05/01	30/05/31
16	30/06/01	30/06/30
17	30/07/01	30/07/31
18	30/08/01	30/08/31

対応方法2. 変更した和暦西暦区分に合わせて、既に登録されている全仕訳データの日付を修正する。

手順① 単行仕訳、振替伝票、現金出納帳、預金通帳の画面を表示する。



手順② 手順①で表示した画面にて、登録されている仕訳データを修正モードで表示し、日付を和暦西暦区分に合わせて修正する。(下記は単行仕訳の例)



以上です。